

会議録

会議の名称	令和3年度第6回新城市若者議会 中間報告
開催日時	令和3年8月23日（水）午後7時から午後9まで
開催場所	本庁舎4階会議室または各自宅からオンライン
出席及び欠席	欠席者： 井上葉月、鳥居愛、夏目涼真（委員） 神谷翼、大山絢加、佐々木美奈実（市外委員） 鈴木孝浩（メンター市民）
会議の内容	令和3年度第6回新城市若者議会 ・政策中間報告 ・委員会での話し合い ・事務連絡

1 政策中間報告

各委員会から現状検討をしている政策についての報告が行われた。報告された内容は以下のとおりである。

観光委員会	<p>若者が考える市の観光に関する課題と強みを洗い出し、次に市が考える観光に関する課題と今後の展望について学び、政策検討していくうえで3つの方向性を決定した。</p> <p>①冬の閑散期に人を呼び込む事業</p> <p> ゴールデンウィークから秋にかけては観光客が来るが、冬になると観光客が減る。1年を通して観光客が訪れるように冬の観光商品をつくる。</p> <p> 人気が高まっているたき火やテントサウナに食事や温泉、レンタサイクルなどを組み合わせ商品化できないかなどを検討している。</p> <p>②歴史を観光資源にする事業</p> <p> 高速バス路線の走行ルートが変更され、首都圏や関西圏からバスにより新城市を訪れる方が今後期待される。Sバス湯谷温泉もつくる新城線内で歴史や観光ガイドの音声をCDで流すことで、一箇所だけでなく、数カ所を訪れたいくなり、あるいは再訪も期待できるのではと考えている。</p> <p> また、画像や動画をQRコードで読み取ることができるチラシの作成も考えている。</p>
-------	---

	<p>③Instagramを活用した事業</p> <p>過去の若者議会でも提案のあったInstagramなどで新城のイトコの写真を集め、発信する事業を継続的に写真が投稿されるような仕組みを整える。</p> <p>投稿された写真の中から定期的に優秀作品を選定し、広報紙などで発信することで投稿者のモチベーションを上げたりすることを考えている。</p>
<p>交流委員会</p>	<p>新城市を「活気があり、世代のリレーができるまち」にするための政策である。交流委員会の考える活気とは、単に商店街が賑わっているというような商業発展だけではなく市民同士が交流しコミュニティを築いているというもの。また、世代のリレーも高齢者と若年層の直接的な交流やバトンタッチだけではなく、新城市に愛着を持ち、新城市について考える若者が増えることでもあると考えている。</p> <p>コロナが流行っている今でこそ、希薄になりつつある人と人とのつながりを作り出す必要があると考える。</p> <p>①掲示板・交流ノート</p> <p>もっせは一とにある掲示板や交流ノートを設置して、世代間問わず見えない人との交流から実際の交流へのきっかけ作りにする。</p> <p>②文化交流祭</p> <p>地域内の交流が減っており、世代間の繋がりが希薄化していることから、文化交流祭を通して若者とシニアを繋げたい。</p> <p>③趣味活</p> <p>生徒数の減少に伴い、部活動数も減少していることから、希望の部活動ができない生徒もいる。一方地域では、いろいろな趣味やスポーツを実施する団体があり、参加者を募集しているため、そこをマッチングできる仕組みを作りたい。</p>
<p>PR委員会</p>	<p>16歳から29歳の幅広い世代に若者議会などまちづくりに参加してほしいという目的をきっかけ話し合いを進めてきた。そのために若者に市や若者議会をしってもらう必要があると考え4つの政策案を検討している。</p> <p>①若者が活躍できるまちプロジェクト</p> <p>市内外のまちづくりに興味がある若者を対象に、若者議会に参加するきっかけや知る機会をつくるため、若者議会模擬体験など全4回のイベントを開催。</p> <p>②アンケート</p> <p>若者がまちづくりに積極的に参加する機会や新たな政策案、アイデアが生まれるきっかけとして、市内の若者にアンケートをとる。</p>

	<p>③若者議会のマスコット作成 若者議会のちょっと堅いイメージを崩し、若者議会のPR活動に活用するため、マスコットの作成をする。</p> <p>④合宿 若者議会の委員を対象として、委員の成長や委員同士の交流を目的に実施する。</p>
--	---

2 委員会での話し合い

各委員会に分かれ、政策案の深掘りを行った。

3 事務連絡

・次回全体会

日時：令和3年9月15日（水） 午後7時から午後9時

場所：オンライン